

あいさつ運動の好事例

玉野市立玉原小学校

(児童数 247名 教職員数 28名)

「いってらっしゃい」と「おかえり」は
玉中学校区の「愛」言葉

アピールポイント

- ・毎月、県下一斉あいさつ運動に合わせて校門で1週間あいさつ運動を行っている。
- ・昨年から中学校区で「小中連携合同あいさつ運動」を始めた。今年からは中学校の試験期間中に合わせて実施している。
- ・学校支援ボランティアの安全パトロールの方も参加している。

実際の様子



取組の概要

■児童生徒の実態

自分から進んで大きな声であいさつができる児童が少ない。

■活動内容

毎年、県下一斉あいさつ運動に合わせて児童会を中心として校門で1週間あいさつ運動を実施している。昨年から「小中連携合同あいさつ運動」を始めた。今年から中学校の試験期間中に合わせて年間6回実施予定。

教職員も分担を決め年間1回は地域の危険箇所立っている。

■取組の参加メンバー

地域の危険箇所立で教職員、保護者が参加している。学校支援ボランティアの安全パトロール隊、地域住民も多数参加している。校門では児童会が中心となって実施。最高学年の児童もクラスで参加するようになっている。

■成果・効果

自分が運動に参加することにより、自覚が芽生え、進んであいさつすることができるようになり、地域の人にほめられることもできた。しかし声の大きさはまだ小さい。